

製品名: EHMT2/G9A (3F1) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe10354**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,FC,IF-P
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:200-1:500,FC 1:100-1:200,IF-P 1:200-1:500
分子量	132kDa

抗原情報

遺伝子名	EHMT2
別名	Bat8; Ehmt2; G9A; GAT8; NG36;
遺伝子 ID	10919.0
SwissProt ID	Q96KQ7
免疫原	ヒト EHMT2/G9A の合成ペプチド

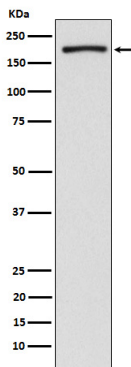
背景

ヒストン H3 の Lys-9 を特異的にモノメチル化およびジメチル化するヒストンメチルトランスフェラーゼ（それぞれ H3K9me1 および H3K9me2）です。H3K9me は、HP1 タンパク質をメチル化ヒストンにリクルートすることで、エピジェネティックな転写抑制の特異的タグとなります。ヒストン H3 の Lys-9 を特異的にモノメチル化およびジメチル化するヒストンメチルトランスフェラーゼ（それぞれ H3K9me1 および H3K9me2）です。H3K9me は、HP1 タンパク質をメチル化ヒストンにリクルートすることで、エピジェネティックな転写抑制の特異的タグとなります。また、G1 期にヒストン H3 の Lys-56 (H3K56me1) のモノメチル化を媒介し、ヒストン H3 と PCNA の相互作用を促進し、DNA 複製を制御します。ヒストン H3 の Lys-27 (H3K27me) も弱くメチル化する。DNA メチル化にも必要なヒストンメチルトランスフェラーゼ活性は、DNA メチル化には不要であることから、これら 2 つの活性は独立して機能していると考えられる。おそらく、E2F6、MGA、MAX、DP1 といった異なる DNA 結合タンパク質によってヒストン H3 が標的とされることが考えられる。ヒストン H1 もメチル化する可能性がある。ヒストンメチルトランスフェラーゼ活性に加えて、非ヒストンタンパク質もメチル化する。例えば、p53/TP53 の Lys-373 のジメチル化を媒介する。また、CDYL、WIZ、ACIN1、DNMT1、HDAC1、ERCC6、KLF12、そして自身もメチル化する。

研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

画像データ



HeLa 細胞溶解物中の EHMT2/G9A 発現のウェスタン ブロット解析。